



おともがわ

学校報 NO, 23

保護者版

令和3年10月1日

みんなで育む豊かな心・健やかな体・確かな学力

4年体育 研究授業

9月28日(火)に、南教育事務所の〇〇指導主事を指導助言者としてお迎えし、体育の指導について全職員で研修を行いました。今回の研修では、4年生を対象に担任の〇〇教諭が体育の授業を行いました。

授業では「セストボール(ゴール型ゲーム)」を行い、子どもたちが「ボールを持っている人と持っていない人の役割を踏まえて、自分はどのように動くか作戦を選ぶことができる」ことを目標に取り組みました。

子どもたちは授業に一生懸命取り組んでおり、〇〇指導主事からもたくさんのお褒めの言葉をいただきましたので紹介します。

- 受け答えがよく、集合や整列、用具の準備等を、整然と素早く行うことができていた。
- 声もしっかり出ていて活気があった。友達のプレーに対して、周囲が積極的に応援したり声をかけたりする姿が見られた。一人一人が安心して自己表現できる人間関係のよさを感じた。
- 「話すこと」「聴くこと」がしっかりとできていた。グループの話合いでも、本当によく説明して伝えていた。ノーマーク等の体育の用語もどんどん使っていて、中学生レベルの表現ができる子どもたちが多かった。
- 「規則を守る」「誰とでも仲良くする」「勝敗を受け入れる」といったところもしっかり身に付いており、自然に拍手が起こるなど、見ていて気持ちよかった。

本校の子どもたちのよさを褒めていただいて大変嬉しく思いました。このよさを更に伸ばしていけるよう、これからも職員一同頑張っていきたいと思えます。



秋の全国交通安全運動

～地域の皆様 街頭指導ありがとうございました～

9月21日(火)から9月30日(木)まで、秋の全国交通安全運動が行われました。この間、地域の皆様にも通学路の各所で街頭指導を行っていただき、ありがとうございました。通学路には、車の交通量が多かったり、道幅が狭かったりするところも多く、歩行に細心の注意を要する箇所も見られます。このような状況の中、地域の皆様から街頭指導をしていただき、大変心強く感じました。また、内小友交通安全会の〇〇様には通年で街頭指導をしていただいております。改めて感謝申し上げます。



継続したい 元気なあいさつ

～あさがお運動(小中連携あいさつ運動)終了～

9月22日(水)、今年度最後の「あさがお運動」が行われました。中学生と本校の内小っ子委員会のメンバーと一緒に校門前に立ち、登校する子どもたちに「おはようございます」と元気にあいさつをしました。中学生と一緒にのあいさつ運動は今回で終わりですが、今後も子どもたちが誰に対しても「**あ**いてより**き**に**か**っこう以外でも**お**おきな声で」あいさつができるよう、引き続き働きかけていきたいと思えます。中学生の皆さん、西中の先生方、ご協力ありがとうございました。



※裏面に続きます。

子ども読書通帳 表彰

～8/31付け おめでとうございます～

【百冊賞】

- 〇〇〇〇〇〇さん (6年生)
- 〇〇 〇さん (6年生)
- 〇〇 〇〇さん (2年生)
- 〇〇〇〇〇〇さん (2年生)

第2回 西地区アウトメディアチャレンジ

～ご協力 ありがとうございます～

9月13日(月)～15日(水)に、2回目のアウトメディアチャレンジを行いました。ご協力ありがとうございました。この取組は、大曲西地区の三つの小中学校が連携して実施するもので、「児童がメディア機器(テレビ・携帯電話・スマートフォン・パソコン・タブレット等)とのよりよい接し方やよりよい生活習慣を学習していく」ことをねらいとしています。今回の取組について、子どもたちや保護者の皆様の振り返りを紹介します。

- 〇(児童)本を読む時間を今まで以上に増やすことができた。
- ◇(保護者)こうした機会に、もっと本に集中できるようになってほしい。
- 〇(児童)しかコースの約束をしっかりと守ることができた。
- ◇(保護者)自分で決めたルールを最後まで守れたのがよかった。
- 〇(児童)前回よりも守ることができた。次回はメディア時間を減らし、勉強時間を増やしたい。
- ◇(保護者)チャレンジの日以外も、きちんと時間を守って使ってほしい。
- 〇(児童)メディアに気を付けて生活することができた。
- ◇(保護者)次回は、今より上のコースにチャレンジしてほしい。

現在、多くの小学校で、「通信機能付き端末(ネットにつながるゲーム機を含む)」の利用の低年齢化への対応が大きな課題となっています。特に、ゲームプレイが「個」から「グループ」に移行しつつある現在、使い方を誤ると、大きなトラブルにつながる心配もあります。

学校では高学年を対象に情報モラル教室を実施しています。ご家庭でも、お子さんの端末の使用について確認するとともに、ルールについて定期的に話し合い、子どもたちの「自己指導能力」を高めていく必要があると感じます。引き続き、学校と家庭が連携して取り組んでいきたいと思ひます。

1. 2年フィールドワーク

9月24日(金)、1、2年生が生活科の学習の一環として、秋田ふるさと村にフィールドワークに出かけてきました。今回の活動のねらいは、「安全にマナーを守って公共施設を利用できる」ことと「友達と協力して仲良く活動できる」ことでした。

主な活動は、「らくやきポーセレン作り」と、「トリックアート体験」「大型アスレチックや巨大ボールプールでの運動や遊び」でした。子どもたちは、職員の方の説明をしっかりと聞くとともに、ルールを守って友達と仲良く活動することができていました。天気もよく、みんな笑顔いっぱい、楽しく充実した1日を過ごすことができました。



ぼけっとさんによる読み聞かせ(3年生)

9月29日(水)、ぼけっとさんの〇〇〇〇さんにお出でいただき、3年生に読み聞かせをしていただきました。今回読んでいただいたのは、「ちくちくとふわふわ」と「黄牛のおくりもの」の2冊の絵本です。

「ちくちくとふわふわ」は、人を(自分も)幸せな気持ちにする「ふわふわ言葉」と、その反対の「ちくちく言葉」を題材にした絵本です。「ふわふわ言葉」のよさが実感できるお話でした。

また「黄牛のおくりもの」は、黄牛のおじさん(牛)が、母親を亡くした5匹のハツカネズミの兄弟たちに自分の食事を与え、親切にしているうちに、家族のように絆が深まっていくというお話でした。3年生からは、黄牛のおじさんの優しさに共感する感想が聞かれました。

どちらの絵本も、優しい気持ちや優しい言葉の大切さを教えてくれるものでした。素晴らしい読み聞かせ、ありがとうございました。

